

年間聖句

「あなたがたは世の光である。」
マタイによる福音書5章14節より

まぶねのなかに ねむりたもう

さこだ なおふみ
ミッション委員会委員長 塚田 直文 さん

◆12月25日はイエスの誕生日？

「クリスマスは何の日でしょうか？」おそらくほとんどの方が「イエス・キリストの誕生日」と回答されると思いますが、どうやら「サンタクロースの誕生日」だと勘違いしている方々もちらほらいるようです。

12月25日は、厳密に言うと「イエス・キリストの誕生日」ではありません。実のところ『聖書』は、イエスの具体的な誕生日について、一切記しておりません。ではなぜ12月25日とイエスの誕生が結びついたのでしょうか？

元々、12月25日は古代ローマ帝国において太陽神ミトラを祝う日だったのですが、西暦313年にキリスト教がローマ国内において〈公認〉されてから、それまであまり重要視されていなかったイエスの誕生にも注目がなされるようになり、さまざまな地域の民間伝承の影響も受けつつ、一説によると西暦354年から、12月25日が「イエスの誕生を祝う日」となったと言われています。

◆きよしこの夜

♪ きよしこのよる 星はひかり
すくいのみ子は まぶねの中に
ねむりたもう いとやすく



国内外で最も有名なクリスマスソングであるこの「きよしこの夜」。皆さんもこれまでに一度は口ずさんだことがあるのではないのでしょうか？

さて、この歌を日本語に訳詞したのは「由木 康」という神戸にゆかりのあるプロテスタント教会の著名な牧師です。由木さんはこのほかにも数多くの聖歌・讃美歌の訳詞また作詞を手がけておられるのですが、この「きよしこの夜」の訳詞において、オリジナルの歌詞にはない「まぶね（飼い葉桶）」という言葉盛り込んだことは、実に意味深いものがあります。

聖書には、生誕後すぐにイエスが「飼い葉桶」に寝かされたという記述があり、

そこから、「飼い葉桶」が置かれる「家畜小屋」でイエスが産まれたとされています。しかし、なぜそのような場所で救い主が生まれた？

◆「宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである」

（ルカによる福音書第2章7節より）



「飼い葉桶＝まぶね」とは、幼子イエスが、救世主キリストとして待ち構える「苦難」と、その先にある「神の救いのみ業」を象徴するものだと考えられています。

幼子の誕生という喜びの歌の中に、このようなメッセージが込められていることで、この歌は原曲よりも「イエスの誕生」の本来の意味をより一層深化させたと言えるのではないのでしょうか。機会があれば、原詞や英語の意味、さらには由木さんが作詞した「まぶねの中に」の歌詞についても調べてみてください。



宝くじ協会様よりいただいたテントが大活躍



酷暑が100日以上も続いた今年の夏、テントを活用することで、プールあそびを実施することができました。また、YMCAの多くの保育園では、運動会に在園児だけではなく地域の方々も参加できるよう、新たな試みにチャレンジしています。宝くじ協会様からご寄贈いただいたテントは組み立てやすく、保護者ボランティアのご協力を得て設営準備にあたり、晴天の下、ご高齢の方々もたくさん来場される中で開催できました。

来年も長い夏が予想されます。テントを活用し、地域の方々と共に集う機会を維持していきます。



クリスマス・新春のご挨拶

総主事 小澤 昌甲

クリスマスおめでとうございます。そして、新年あけましておめでとうございます。YMCAに集ってくださる会員の皆さまにとって、2026年も神様の恵み豊かな一年となりますようにお祈り申し上げます。

さて、1886年(明治19年)5月8日に神戸市諏訪山、紅葉館で「神戸キリスト教青年会」(神戸YMCA)は産声を上げました。当初は、宣教師の主導によって進められた聖書朗読、英語教育、祈禱会を開催し、未来を創る若者育成の営みが始められたのでした。

戦争や震災の災禍に遭い、建物を失っても、その歩みは止まることはありませんでした。キリスト教主義に基づく社会教育機関として、多くの会員の皆さん、ワイズメンズクラブの皆さん、ボランティアの皆さんと地域で共に歩む中で、子どもや若者を育むためのウェルネス事業、地域子育て支援事業、教育・福祉事業、日本語教育・学校教育事業、国際活動、国際事業を展開し、そこにかかわる人々が、人や地域社会に仕える人として世に出るという組織文化が事業の価値として生み出されてきました。

今は人口減少、少子高齢化が加速する縮減社会を迎えています。気候変動が進

み、情報化が急速に進むなど、変化が激しい、そして先の見えない社会の中に生きています。私たちYMCAは、子ども・若者、家族、外国人を含めた地域の方を対象とする活動の場、健康活動の場、教育・保育の場、これらすべてを共に生きるための居場所とし、学びあい、

支えあい、仕えあう場を作るだけでなく、神様に仕え、自分で考え行動する力を養い、人に仕える奉仕の心をもって共に平和な地域社会をつくることを目指します。

これを2030年の目標として進め、神戸YMCA設立150年を迎える2036年、そして2040年に向かって、また新たな計画を策定していきます。



全国YMCA主事会 1913年(大正2年)第一期会館にて

余島感謝礼拝

総主事 小澤 昌甲

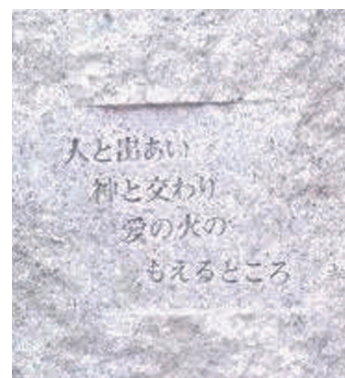


第二次世界大戦後、日本が戦禍に見舞われ荒廃する社会の中で、一人のYMCA主事が探し続けて1948年に見つけた島。それは、瀬戸内海に浮かぶ周囲2.2kmの大余島でした。神戸YMCAが小豆島鹿島沖にあるこの島をお借りして、余島キャンプ場として歩みを始めたのは1950年のこと。21世紀の子どもたちや青年たちが新たな時代を築くために必要とされる「民主的な社会」をつくるためでした。

少人数におけるグループワークの手法を用いて、目的を協議して設定し、キャンプにおいて出会い、共に交わりと成長を求め、そこにかかわる青年たちが共に育つことを求めてスタートしたのです。多くのキャンパー(キャンプに参加する子どもたち)は、共に過ごす仲間たちやかかわるリーダー(青年たち)に大きな影響を受け、たくさんのキャンパーは、学生になるとリーダーとなって帰ってきてくれました。目に見えない強い絆づくりを脈々と75年間、続けてきたのです。

長年にわたり議論を重ねた結果、誠に残念ですが、2025年度をもって神戸YMCAの余島キャンプ場は閉鎖することとなりました。余島には、神様から与えられた数えきれない人々との出会い、交わりがあり、数々の成長の種がまかれました。その歩みは決して止むことはないでしょう。余島で培われた精神は、神戸YMCAにも、余島にかかわったすべての方々の中にも、しっかりと根付いているからです。余島で培われた精神、余島で築かれた財産を未来に伝えていくために、この75年の歴史は神戸YMCAの歴史と共に、これからしっかりと纏めていきたいと思っています。

去る10月4日(土)、100名を超える方々にご参加をいただき、余島にて感謝礼拝の時を持ちました。日本基督教団前橋教会の川上盾牧師(元東神戸教会牧師で、遠い余島までお越しいただきました)の心に沁みるメッセージに心より感謝申し上げますと共に、今まで携わっていただきました、たくさんのキャンパー、保護者の皆さま、リーダー、リーダーOBOG、ワイズメンズクラブ、ロータリークラブの皆さま、そして小豆島の皆さま、とてもここに書ききれませんが、余島を愛し、余島へお越しくださった皆さま、そして、いつも神戸YMCAをお支えくださる役員の皆さま、職員の皆さんに、心より感謝申し上げます。これからも神戸YMCAをどうぞよろしくお願いいたします。



余島センター食堂入口の石碑

須磨YMCA

須磨YMCAは神戸YMCAちとせ幼稚園の敷地内にあり、学童保育を中心に、幼児体操クラブ、小学生体操クラブ、ユースバスケットボールクラブ、習字、ピアノなどの幼少年プログラムを行っています。幼稚園の園児や卒園児、学童保育を利用している児童が多く参加されています。

小学生体操クラブでは、大きな体育館で「マット・とびばこ・鉄ぼう」の3種目を中心にバランスよく、そして子どもたちが自ら楽しく体を動かせるように取り

組んでいます。子どもたちが「できた!」と思える体験を通じて、心身の発育・発達を目指しています。

マット・とびばこ・鉄ぼうを行う前には、体育館全面を使ってドッジボールや大縄跳び、鬼ごっこなど思いっきり体を動かしています。ときにはドッジボールや大縄跳びが盛り上がりすぎて、マット・とびばこ・鉄ぼうを行う時間が短くなるときも。リーダーと子どもたちが一緒に楽しんでいます!



小学生体操クラブ

ファミリーウエルネスセンター

神戸YMCA三宮会館秋まつり ～中高生のボランティア～

神戸YMCA三宮会館の秋まつりに、今年も模擬店を出店しました。出店にあたり、YMCAを卒業した中高生のOB・OGに連絡してみました。彼らとまたつながり直せる機会になればと考えたからです。「いいよ!」「行きたい!」「部活終わってからでもいい?」と快く引き受けてくれました。

当日の朝、楽しさと少しの不安を交えた表情のOB・OGが次々とやってきます。すぐに「何からしたらいい?」という言葉が出てきます。現役メンバーと一緒に準備を進め、わたしたちはただ見守るだけです。

店のレイアウトや看板づくり。スーパーボールすくいのパイ、キャラクター釣りのこより作りも手際よく進め、開店を迎えました。接客やお金の管理なども役割分担し、状況に合わせて動くなど、互いに協力する姿がありました。

YMCAに中高生の活躍の場があることは素敵なことです。彼らはいつも、わたしたちにパワーと学びを与えてくれます。これからも多くの中高生が集い、共に時間を過ごし、お互いに成長できる場所となればと感じた秋まつりでした。



ウエルネスセンター学園都市

In Body測定

皆さまは「In Body」をご存知でしょうか。In Bodyとは、体を構成する基本成分である体水分、タンパク質、ミネラル、体脂肪を定量的に分析し、栄養状態に問題がないか、体がむくんではいないか、体がバランスよく発達しているかなど、人体成分の過不足を評価する検査です。

ウエルネスセンター学園都市では、毎年2月、6月、10月の計3回、In Bodyの無料測定を実施しており、今回は2026年2月15日(日)～2月28日(金)に実施予定です。In Bodyを活用することで、自分の体の健

康状態を知ることができます。また、新たなトレーニングを見つけ、新たなトレーニング仲間と出会うことができ、心の健康にもつながっていきます。皆さまもIn Bodyを活用してみたいはいかがでしょうか。

ウエルネスセンター学園都市にはIn Bodyの他にも、トレーニングマシンやプール、ラケットボールコートもあり、さまざまなレッスンも行っています。ウエルネスセンターが、毎日をより健康的に過ごしていくための新たなスポーツやトレーニング、新たな仲間に出会える場所であればと思います。



2025年度 神戸YMCA YYYフォーラム

2025年度のYYYフォーラムは、「若者の居場所」をテーマに、文教大学准教授の青山鉄兵さんをお招きし、ご講演いただきます。

現代社会の課題でもある「若者の居場所」に対して、YMCAとしてどのように捉え、今後どのようなことができるのか。YMCAに連なる人々の交流も深めつつ、活動のヒントが得られるようなフォーラムになればと思っています。

お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。



「若者にとっての居場所の意味

～ユースワークの視点から考える～」

- ◆日 時：2026年1月24日(土)13:30～15:30
- ◆会 場：神戸YMCA三宮会館 2Fチャペル
- ◆講 師：青山鉄兵さん

(文教大学人間科学部准教授、
東京YMCA評議員、
東京YMCA野尻学荘副荘長)

- ◆参 加 費：無料(定員80名)
- ◆申込締切：2026年1月17日(土)18:00
- 問合せ：YYYフォーラム実行委員会
- Eメール kaiinzokyo@kobeymca.org (完山)



お申込みはこちらから→



青山鉄兵さん

こくさいのまど

シアトルYMCAとの新たなつながり

2025年10月、余島感謝礼拝に合わせてシアトルYMCAの皆さんが来日されました。長年にわたり神戸YMCAとのパートナーシップを築いてくださっているトム・ホースレーさん(元副総主事)との再会、今回初めて来日されたシアトルYMCA最高執行責任者(COO)兼最高財務責任者(CFO)であるマイ・グエンさんとの出会いも大きな喜びでした。

グエンさんはベトナム難民として家族とともに渡米されました。幼少期に受けた支援や地域からの善意が、彼女のリーダーシップの原点となりました。非営利団体の運営や地域福祉の分野

で30年以上の経験を重ね、常に「誰もが平等に機会へアクセスできる社会」を目指して活動されています。

2024年にCOO/CFOへ就任後は、経営の透明性と財務の健全化を図るとともに、言語の違いや経済格差といった障壁を減らす取り組みを推進。公平性(Equity)を組織文化の中心に据え、すべての人に開かれたYMCAづくりに尽力されています。

2026年にはパートナーYMCA60周年を迎えます。これからも世代を超えて結ばれる新たな絆と協働が続くことを願っています。



グエンさんご夫妻(中央)と

YMCA STORY

寄り添う気持ち

ちとせ幼稚園入園前に、園庭開放に参加したのがYMCAとの出会いでした。

以来20年近く、一人っ子の私がさまざまな人と交流してさまざまな価値観と出会い、自分だけの世界に閉じこもらないようにという両親の思いから、多くの活動に参加させてもらいました。サッカー、体操、プール、スキー、そして余島キャンプなどの野外活動に参加し、大学の4年間は余島リーダーの経験もしました。

これらの経験から一番感じたことは、人と人とのつながりの大切さということです。中でも、じっくり相手の気持ちと向き合い、忍耐力を持って接する姿勢です。

幼児サッカー教室でのことです。私はまだ小さくて集中力もなく、サッカーをするよりも周りの遊具や草むらに興味を持つことがしばしばあったのですが、リーダーは私の気持ちを汲んで、今はサッカーに引き込んで楽しめないとか、今なら楽しめるとかを見極めるなど、じっくりと向き合ってくださいました。

幼児野外活動では、虫がたくさんいてどうしても道

を進むことができない私に長時間寄り添い、乗り越えさせてくださったこともありました。

大学在学中は余島リーダーやサッカー教室のお手伝いをする事になり、メンバーを受け入れる側になりました。

余島の長期少年キャンプではアプレンティス（高校生リーダー見習い）の担当をしました。彼らはメンバーのためにさまざまな雑務を行い、大相撲余島場所の土俵を灼熱の下で黙々と作り上げます。彼らと共に汗をかきながら、メンバーのことを思い活動したことは、とても良い経験になりました。

またリーダー会の仲間とは、キャンパーがより良い体験ができるようにミーティングを重ね、キャンプ場の整備も行いました。

現在私は中学校の教員採用を目指して、常勤講師として中学生と日々向き合っています。YMCAで経験したリーダーやメンバーとの関係を活かして、忍耐を持って相手の気持ちに寄り添えるような教員になりたいと思います。

余島・サッカー リーダーOB 堀田 晋一 さん

2025年度 YMCA国際協力募金 街頭募金活動

神戸キリスト教青年会国際委員会において、国際協力募金街頭募金活動を実施することを決定いたしました。



- ◆日 時：2025年12月14日(日)14:00～15:30
 - ◆場 所：大丸神戸店前
 - ◆窓 口：神戸YMCA国際・奉仕センター
中道(houshi@kobeymca.org)
- ※ 天候によっては中止する可能性があります。

神戸市立たかとり児童館

子育て世帯を対象とした食材配布支援をスタートしました

物価高騰などにより困窮するご家庭が増えている中、たかとり児童館は、こども家庭庁の「ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業」の実施団体に選ばれました。それに伴い、子育て世帯を対象に、食材配布の支援を実施しています。子どもたちの貧困や孤独・独立への緊急的な支援を実施しつつ、支援を必要とされる一人でも多くの方々に、食材などを届けることができると考えております。

お申込み、お問い合わせ等はたかとり児童館までご連絡ください。



問合せ たかとり児童館 TEL 078-735-6230

神戸YMCA 遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。
神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要とされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

神戸YMCAの願い

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ワイズコーナー

「きらりと輝くアート展」開催に向けて

六甲部 地域奉仕・環境事業主査 福原 吉孝 さん
(芦屋クラブ)

2025年度、六甲部 地域奉仕・環境事業主査として活動する福原です。六甲部がサポートしている「きらりと輝くアート展」についてご報告いたします。

この「きらりと輝くアート展」は、「障がいのある方に作品を発表できる場を提供しよう、少しでも社会とつながりをもてるよう、そのお手伝いをしよう」という強い思いで始められた、六甲部が大切に継続している事業です。毎年、各地区の事業施設、入居施設の皆さまの素晴らしい絵画や写真、粘土、織物等の力作が並び、前年度には、甲南大学教授の服部正さんの特別講演会も行いました。

今年度は、2026年3月27日(水)から29日(日)に、兵庫県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」での開催が決定し、六甲部の各クラブの実行委員が出展作品の募集を開始しました。多くの作品が寄せられ、その素晴らしい作品が多くの人々に感動を与え、心豊かになっていただける良い機会になると信じております。

「きらりと輝くアート展」の開催に向けて、YMCAの皆さまにも、絶大なるご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同) (前号掲載以降～10/15まで)

寄附

中山豊美、熊谷郁子、川原真、池田麻梨子、柳下史織、日本ハンドベル連盟 関西支部、神戸ポートワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ、神戸西ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、芦屋ワイズメンズクラブ

子ども奨学金

田中 邦康

ミャンマー地震緊急支援募金

社会福祉法人神戸YMCA福祉会学園地域

国際協力募金

廣瀬 献児、古谷 美子

チャリティーラン

大野 智恵、サンヨー環境株式会社、株式会社シミズテック、浜脇学童保護者会、神戸ワイズメンズクラブ、社会福祉法人神戸YMCA福祉会学園地域

この他にも、多数の寄附・募金等をいただいております。感謝をもってご報告いたします。



ファミリーウエルネスセンター ☎078(241)7202
ランゲージセンター ☎078(241)7204
専門学校 ☎078(241)7203
西宮YMCA ☎0798(35)5987
余島野外活動センター ☎0879(62)2241
キャンピングサービスセンター ☎078(241)7216
国際・奉仕センター ☎078(241)7204
ウエルネスセンター学園都市 ☎078(793)7401
西神戸YMCA ☎078(793)7402
神戸YMCA高等学校 ☎078(793)7435
YMCAおひさま ☎078(793)9077

西神南YMCA ☎078(993)1560
須磨YMCA ☎078(734)0183
YMCA保育園 ☎078(794)3901
西宮YMCA保育園 ☎0798(35)5992
西神戸YMCA保育園 ☎078(792)1011
神戸学園都市YMCAこども園 ☎078(791)2955
神戸YMCAちとせ幼稚園 ☎078(732)3542
西神戸YMCA幼稚園 ☎078(997)7705
西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798(26)1016
あかしこども広場 ☎078(918)6355
学園都市YMCA保育ルーム ☎078(794)3045

ユースプラザKOBE・EAST ☎078(891)8222
神戸市立太山寺児童館 ☎078(794)4790
こべっこあそびひろば西神中央 ☎078(964)5808
神戸市立高倉台児童館 ☎078(733)6844
神戸市立たかとり児童館 ☎078(735)6230
YMCA保育園おひさま分園 ☎078(794)4080
おやこふらっとひろば西 ☎078(939)4530
西宮市香櫨園留守家庭児童育成センター ☎0798(33)0214
西宮市用海留守家庭児童育成センター ☎0798(35)1522
西宮市浜脇留守家庭児童育成センター ☎0798(34)1444